

サポートブック (年 月 日作成)

写真

ふりがな

名前

(男 ・ 女)

呼び名 ()

年齢 / (学年)

歳 /

生年月日

血液型

年 月 日

型

所属（学校・園、または、通勤先・施設など）

TEL :

所在地 :

保護者連絡先

保護者氏名 :

TEL :

TEL :

住所 :

必要な方のみ、この記入フォームをお使いください

医療機関

主治医（ 有 ・ 無 ）

診断（ 有 ・ 無 ）

病院名

主治医

診断名

TEL :

所在地 :

手帳・程度(判定)

（ 有 ・ 無 ）

手帳名

判定

持病・投薬・アレルギー

(有 ・ 無)

(詳細)

(注意点・配慮点など)

必要な方のみ、この記入フォームをお使いください

とは

* 発達の偏りから生じる特性の説明

特性から捉えた本人の特徴

- * 対人関係の特徴 コミュニケーション(特に言語面)の特徴 こだわり、想像力に関する特徴 感覚に関する特徴 行動面での特徴 学習・認知面での特徴、などで、主に発達の偏りから生じていると考えられる本人の特徴。

好きな遊び・好きな活動

(室内・個人) *好きなおもちゃ等

(室内・関わり遊び,集団活動) *おんぶ,手遊び,集団ゲーム等

(屋外・個人) *好きな遊具,プール等

(屋外・関わり遊び,集団活動) *追いかっこ,スポーツ等

興味のあること

*例えば・・・ 好きなキャラクター,タレント 良く見ているTV番組 好きな音楽 本人の得意なこと 良く話題にすること 楽しく取り組んでいること 余暇活動 意欲的に取り組んでいるお手伝い、など。

コミュニケーション(本人が意思を伝える場合)

- * 1 「要求(~したい,~が欲しい)」の時、「拒否(いや,したくない)」の時、本人の表現手段は？言葉での表現の場合でも、態度での表現の場合でも、周囲に伝わりにくく、誤解される可能性のあるものを中心に。
- * 2 「具体例」(その時の状況, 本人の様子, 態度, 言葉での表現, など)

(要求・拒否の表現手段と具体例)

コミュニケーション(相手が本人に伝える場合)

* 1 「見せて伝える(視覚)」…見本・手本・写真・絵を示す。書いて伝える。

「口頭で伝える(聴覚)」…口頭で順序立てて説明する。耳で記憶させる。

(本人が理解しやすい手段)

口頭で伝えるだけでなく、見せるとよりわかりやすい

見せて伝える(長い指示を聞くと、かえって混乱する場合)

口頭で伝える(見ながら聞くと、かえって混乱する場合)

その他()

* 2 本人が実行しやすい方法とは～「 しないよ」ではなく、「～してね」

「 してから だよ」など、肯定的に伝える。選択肢を出して、本人に決めてもらう。約束をし、実行できたらすぐに褒める、など。

(本人が実行しやすい手段)

コミュニケーション(相手が本人に伝える場合)

* 1 本人の注意をひくときに、普段やっている方法は？

* 2 具体例～セリフ・提示の仕方に加え、本人にとってわかりにくい、実行しづらい伝え方と、わかりやすく実行しやすい伝え方を併記すると

「～して！」 - 指示を伝える場合の具体例 -

「ダメ！」 - 禁止を伝える場合の具体例 -

「次は～だよ」「また後で」 - 予定を伝える具体例 -

こだわり・パニック

(必要なら枚数を増やしてください)

(きっかけ) *原因となる状況など

(行動) *本人の様子について

(起きないようにする工夫) *予防,環境的工夫など

(起こってしまった時の対応) *落ち着かせる方法など

安全上の配慮点

* お子さんによっては、危険予測が苦手であり、危険な行動を思いがけずとることがあります。事前にわかることがあれば、ご記入ください。

(危険な行動が起こりやすい状況)

(行動) * 本人の様子について

(起きないようにする工夫) * 事前の声かけ,環境的工夫など

(もし起こってしまったら・・・) * 制止する方法など

感覚の過敏さ、または鈍感さに関する配慮点

* お子さんによっては、大多数(一般)の人と違った感覚を持ち、周りに伝えられずに困っている場合があります。事前にわかることがあれば、ご記入ください。

トイレ

- * 1 今できていることと、練習中で手助けが必要なことの両面を具体的に書く
とわかりやすくなります。
- * 2 配慮点～洋式、和式での排泄は可能か。においに対する敏感さがあるか。
初めての場所ではどうか。「トイレに行きたい」と伝えられるか、など。

「小」 - 配慮点とご家庭での手助けの具体例 -

「大」 - 配慮点とご家庭での手助けの具体例 -

食事

*好きな食べ物・嫌いな食べ物については、 朝昼晩の食事 おやつ 飲み物・・・と、番号をふって分けて記述すると、わかりやすくなります。

(好きな食べ物)

(嫌いな食べ物)

(食べてはいけないもの・アレルギー) * 赤で記述

食事

* 配慮点～自分で量を調節できるかどうか。お箸の使い方、食事のマナーなど、練習中のことがあれば、本人ができているところと、家庭での手助けや道具の準備(補助箸,お手ふきなど)が必要なところを、合わせて記述。

(できていること)

(配慮点) * ご家庭での手助けや対応の具体例

外出

- * 1 徒歩を含む交通手段に関して、配慮の必要なことがあるのかどうか。
- * 2 本人の興味をひく対象物(エレベーター・自動販売機など)によって、切り替えが難しくなることが予測される場合には、予測されるお子さんの行動と対応方法とを合わせて記述すると、わかりやすくなります。

(できていること)

(配慮点) * ご家庭での対応方法の具体例

生活面(身辺自立など)

- * 着替え 入浴 歯磨き・・・と、分けて記述すると、よりわかりやすくなります。必要に応じて枚数を増やし、項目ごとに記述してください。

(できていること)

(配慮点) * ご家庭での手助けや声かけなどの具体例

睡眠(就寝・起床)

(就寝時の本人の様子)

(起床時の本人の様子)

(配慮点) * ご家庭での環境的配慮,声かけの工夫など